

材舟航、漁業アレト水力地點トハ何等ノ關係ナシ

(二) 用水 下流部ニハ多ケレトモ到底枚舉ニ追アラス且  
水力地點トノ關係ナケレハ省略シ本流及迫間川トモ隈府  
町以上ニ於ケル主ナルモノヲ掲グレハ左ノ如シ

河川	取入口位置	灌漑反別
菊池川	水源原 <small>村大字</small> 下角 <small>字</small>	二〇〇 <small>町歩</small>
同	迫間 重味 古川	一四〇
同	同 同 澁	三五〇
同	河原 木庭 島田	一五〇
同	隈府 築地	二〇〇
同	龍門 蛭蛇口 向原	一七〇
同	迫間 豐岡 古瀬	八〇
同	同 西迫間 七坪	九〇

四 水力地點

本水系中本流隈府町以上及迫間川ハ勾配急ナレハ水力ニ利用スヘシ其ノ他内田川等ノ上流部ニ於テモ地點ヲ得ラレサルニ非サルモ出力小ニシテ到底有利ナルモノ及纏リタルモノヲ得ヘカラス

菊池川本流ニ於テ利用シ得ヘキ部分ハ凡テ許可トナリ内一地點ヲ除ク外工既ニ成レリ。又迫間川ニ於テモ一地點許可トナリ目下工事中ニシテ其ノ他ハ小地點一ヲ取り

得ルニ過キサルヘシ

菊池川水系許可地點一覽表

種別	百馬力—壹馬力		壹馬力—千馬力		千馬力—壹馬力		合計
	地點數	馬力數	地點數	馬力數	地點數	馬力數	
發電開始	一	—	一	—	三	九〇三	三
未開始	二	四五二	二	一、五八六	一	二、四四六	五
合計	三	四五二	三	一、五八六	四	二、四四六	八
							一、三、五、九

第三十二章 矢部川水系

一流域

(一) 地形 矢部川水系ノ流域ハ福岡縣ノ南端ニ位シ八女山門及僅ニ三瀧三池ノ諸郡ニ跨リ東西ニ延ヒ中央狹マリ稍瓢ノ狀ヲナシ東西一一里南北五里ニ亘リ面積四〇方里アリ

流域ノ北部ニハ耳納山脈東西ニ走り東部ニハ火山岩ヨリ成ル山岳簇立シ南部ニハ筑肥山脈連亘ス。而シテ流域ノ中部以東ニハ山岳連レト地形雄峻ナルモノナシ流域ノ西部ハ筑紫平野トナレリ  
流域ノ東部即チ大分、福岡兩縣界附近ニハ多數ノ火山岩

ヨリ成ル峰巒簇立ス熊渡山權現嶽釋迦ヶ嶽猿駝山三國山ハ其ノ主ナルモノニシテ高サ三〇〇尺内外ノモノ多ク南北ニ連リ大山川津江川トノ流域ヲ分チ之ヨリ西方ニ支脈ヲ出セリ即チ熊渡山ノ北方ヨリハ龍川内山合瀬耳納峠アリテ耳納山脈ニ連リ權現嶽附近ヨリハ平野岳竹山大山高峰等連リ黒木町附近ニ至リ矢部川ト星野川ヲ分チ南部ニ於テハ三國山ヨリ西ニ國見山休鹿山等アリテ筑肥山脈ト連レリ

耳納山脈ハ合瀬耳納峠附近ヨリ現ハレ高サ二七〇〇尺許ノ鷹取山トナリ一直線ニ東走シテ高サ二、三〇〇尺許ノ發心山ヲ經テ次第ニ低下シ高良山ニ終レリ此ノ山脈ハ山頂ノ高低少ク北側ハ急傾斜ヲナセトモ南側ハ傾斜緩ニシテ星野川畔ニ及ヒ溪流其ノ間ヲ斷チ山岳分立ノ傾アリ其ノ發心山ヨリ西南ニ延ヒタルモノハ筑後川支流荒木川ト矢部川水系トノ流域ヲ分テリ

筑肥山脈ハ熊本福岡兩縣界ニ蜿蜒セルモノニシテ東方ハ國見山休鹿山等ノ火山岩ノ山岳ニ接シ之ヨリ女嶽男嶽小栗峠ヲ經テ鷲巢山ニ至リ其ノ北部斜面ハ矢部川ノ支流ニ分タレテ數條ノ連嶺ヲナシ邊春川ト白木川トノ間ニ鷲形山白木川ノ西ニ鷹取山等アリ而シテ北端ハ矢部川岸ニ

又安山岩ノ山岳ノ間ニ少許介在スルモノアリテ矢部川上流ノ飯干附近及星野川上流ノ小室附近ヲナセリ

又火山噴出物ヨリ成ル所少許アリ黒木町ノ北方矢部川星野川ノ間ニ挾マレタル低夷ナル丘陵起伏スル所及邊春川ノ沿岸之ニシテ前者ニハ少許ノ三紀層介在セリ

流域ノ西部ニハ洪積層アリ星野川北部古生層ノ山岳ノ西方一帶ニ展延セル極メテ低夷ナル丘陵起伏スル所之ナリ而シテ星野川矢部川沿岸及河口附近ノ平地ハ沖積層ヨリ成レリ

(三)林野狀態 本水系ノ流域ハ其ノ林野狀態ヨリ之ヲ二ノ區域ニ大別スヘシ。其ノ一ハ流域ノ東半ノ山岳相連ル所ニシテ河畔ノ平地及溪谷山腹等ニハ耕地アレト全面積ノ一割ニ足ラス田ハ主トシテ河畔ニアリ其ノ面積畑ヨリ稍多シ。其ノ他ノ部分即チ山ノ斜面ハ主トシテ針葉樹林、潤葉樹林、混濬林、無立木地交錯シ内針葉樹林最多ク約四割ヲ占メ其ノ約八割ハ杉、檜ノ植林ナリ潤葉樹林ハ自然林ニシテ二割ヲ占メ其ノ他ハ無立木地多少アル外ハ混濬林ナリ是等森林ノ狀態ハ流域ノ東部ニ於テ狀況最良好ナリ

第二ノ區域ハ流域西半ノ平地ニシテ一帶ニ耕地開ケ水田多シ

迫レリ。是等ノ山岳ノ主峰ト雖高サ一〇〇〇尺乃至二、〇〇〇尺ニ過キス斯ノ如ク流域ノ中部以東ニハ山岳連亘スレトサマテ高キモノナク勾配亦急峻ナラス此ノ内ニアリテモ東部火山岩ヨリ成ル部分ハ地形錯雜シ南方筑肥山脈ニ屬スル山岳ハ地形緩慢ナリ。斯ノ如キ山岳ニ於テモ矢部川、星野川畔ニハ極メテ狹小ナル平地アリ而シテ星野川及矢部川ノ合流點附近ヨリ以下ハ一帶ノ平野ニシテ西方筑紫平野ニ連レリ

(二)地質 本流域ノ山岳ヲ構成スル主ナルモノハ古生層及安山岩ナリ。安山岩ハ流域ノ東境ヲナス熊渡山、權現嶽、釋迦ヶ嶽、猿駝山、三國山及流域ノ南境ヲナス國見山、休鹿山、星原山等ヲ初メトシ之ヨリ西方ノ諸山即チ北部ニ於テハ龍川内山、合瀬耳納峠附近迄中部ニ於テハ最西ニ延ヒテ平野岳、竹山、大山、高峰等ヲ作シ又女嶽ノ北部ヲナスモノハ矢部川ヲ横切リテ高峰附近ノモノト接續セリ

是等ノ安山岩ノ山岳ノ西ニ接セル山岳ハ筑紫山脈ノ古生層ニ屬スル輝岩、角閃岩、雲母片岩等ヨリ成レリ即チ北部ニ於テハ耳納山脈ヲ初メトシ之ヨリ星野川附近ニ至ル山岳南ニ於テハ筑肥山脈ノ諸山脈ヲ作り北方河岸ニ及ヒ又星野川、矢部川ノ中間ニ在リテハ黒峰ノ西ニ少許現ハレタリ

(四)氣象 下流平野暖ク上流ニ行クニ從ヒ寒ク年平均氣温ハ一四度ヨリ一六度許ノ間ニ在リ

雨量ハ下流平野ニ於テハ少ク年雨量一七〇〇耗餘ナレト上流ニ行クニ從ヒ多クナリ黒木ニ於テハ一、九〇〇耗ヲ超エ最上流部ニ於テハ星野川流域二、二〇〇耗餘而シテ本流上流部ハ著シク多クシテ二、七〇〇耗ニ近シ。降雨日數ハ一三〇日乃至一五〇日許ナリ

二、河川ノ狀況

(一)概説 矢部川本流ハ大分熊本福岡ノ三縣界ナル三國山ニ源ヲ發シ山岳起伏スル間ヲ北西流シ福島町ニ於テ筑紫平野ニ出テ更ニ筑肥山脈ノ北麓ニ沿ヒテ西流シ南轉シテ有明灣ニ注ク。支流ノ主ナルモノハ星野川ニシテ權現嶽ニ源ヲ發シ本流ノ北ヲ西流シ福島町ニ於テ本流ニ合ス其ノ他筑肥山脈ニ源ヲ發シ北流シテ本流ニ注グモノニ邊春川、白木川アリ又耳納山ノ南ヲ流レ星野川ニ合流スル支流アレト何レモ流域狹ク流量少ク且多ク河畔ニ平地アリ勾配緩ナリ

(二)河況

矢部川本流 矢部川本流ハ河況ヨリ之ヲ二トナスヘシ其ノ一ハ上流ヨリ黒木町迄ニシテ稍急峻ナル山岳相連レ

ル間ヲ流下ス河幅七八間乃至二〇間ノコト多シ上流矢部  
 村飯千ヨリ日向神附近ニ於テハ河床河岸主トシテ岩盤ヨ  
 リ成レト著シキ露出ナク河岸稍屹立シ河床ハ比較的平ニ  
 シテ砂礫ヨリ成リ轉石散在ス。下リテ日向神附近ニ至レ  
 ハ兩岸ニ火山岩ノ斷崖懸リ河床ハ岩盤露出スル所砂礫ヨ  
 リ成ル所岩塊散在スル所アリ。日向神ヨリ藤木迄ハ河岸  
 概シテ岩盤ヨリ成リ河中ニ大ナル岩塊轉石多數散亂シ勾  
 配六〇分ノ一許ナリ之ヨリ下ニ於テハ河岸ニ平地アルコ  
 トアレト河床ヨリ數十尺高ク河岸ハ岩盤ヨリ成ル所ト岩  
 塊砂礫等ヨリ成ル所トアレト概シテ屹立シ河床ニハ尾龍  
 野附近ニ岩塊多數散亂スル所アル外概シテ砂礫轉石ヨリ  
 成リ河幅二〇間ヲ越ユル所アリ勾配ハ一〇〇分ノ一乃至  
 一六〇分ノ一ナリ

第二ノ區間ハ黒木町以下ニシテ河ハ平野ヲ流下ス河幅  
 一〇間ヨリ二〇餘間ノ間ニ變化シ河岸河床ニ岩盤現ハル  
 ルコトアレト少ク大部分ハ砂礫轉石ヨリ成リ勾配緩ニシ  
 テ水流靜穩ナリ

星野川 山岳相迫レル間ヲ流下ス星野村十籠ヨリ上流

矢部川水系流量表 (本省調査)

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量					
					年次	最大	平水	低水	最大	平水	低水	最小		
三三一		矢部川	福岡縣八女郡大瀨村 北大瀨藤木村	六三七	大正八年 大正九年 大正十年 大正十一年 平均	二二五〇 二〇四〇 一六三〇 一四二〇	八九	五九	四	三三	一三九	九三	六四	三七

(参考)

同

(電氣事業者調査)

事業者	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量					
				年次	最大	平水	低水	最大	平水	低水	最小		
筑後水力電 氣株式會社	星野川	福岡縣八女郡北川内村 久木原	五六一	大正八年 大正九年 大正十年 大正十一年 平均	七九	五七	五	三	三	二四二	一八九	五七	五三

三、水利及治水

(一) 概説 治水事業ハ主トシテ下流部ニ在リ。本流及支  
 流飯江川ハ大正五年十月十六日河川法準用認可セラレタ  
 リ。水利事業トシテハ用水最多ク發電水力之ニ次キ漁業  
 多少アレト流材ハ無シ

(二) 治水 下流部平野地方ニ於テハ舊藩時代以來河岸ニ  
 堤防水制等築造サレシモ不完全ナレハ八女郡水田村大字

ニ於テハ河ハ火山岩ヲ削リテ流下シ河幅數間河岸ハ十數  
 尺屹立シ峡谷ノ狀ヲ呈シ河床ニハ砂礫ヲ存シ勾配六〇分  
 ノ一許ナリ。十籠ヨリ下ニ於テハ從來河幅サマテ大ナラ  
 サリシモ大正十年六月ノ大洪水ノタメ甚タシク荒廢シ河  
 幅廣キハ三〇間ニ近ク河川ニ岩盤露出スル所アリ又兩岸  
 削ラレテ土層ヲ表ハシ屹立スルアリ河床ニハ礫轉石散亂  
 シ勾配八〇分ノ一乃至一二〇分ノ一合流點附近ハ更ニ緩  
 ナリ

(三) 流量 一年ヲ通シテノ流量變化ノ狀況ハ一般河川ト  
 大體同様ニシテ十一月ヨリ一月ハ少ク二月ヨリ五月中旬  
 迄次第ニ増加シ梅雨前減少シ梅雨ニ入りテヨリ急ニ増加  
 シ八月迄ハ概シテ流量多ク九月ヨリ漸次減少ス。月平均  
 流量ノ最大ハ冬季ニ在レト一年ヲ通シテノ最小流量ハ年  
 ニ依リ梅雨前ニ起リ又冬季ニ起リ月平均流量ノ最大及一  
 年ヲ通シテノ最大流量共ニ六月ヨリ八月ノ間ニ起ル  
 本河川ハ流域面積一方里當ノ流量貧弱ナリ

尾島宇船小屋ヨリ海ニ至ルマテ河川ノ改修及土砂浚渫等  
 ヲ施行中ナリ船小屋ヨリ上流ニ對シテハ目下計畫中ニ屬  
 ス。而シテ上流山間部ニ於テハ所々護岸等アル外治水事  
 業ト稱スヘキナシ。本水系ニ於テハ大正十年六月異常ノ  
 大洪水アリ附近一帶ニ汎濫シ甚タ慘狀ヲ呈セリ

(三) 用水 用水ハ大部分下流部平野ニ在レト尙上流部ノ  
 水力ヲ利用スヘキ部分ニモ水田アラザラ以テ所々ニ用水取

入レラル本流黒木町以上ノ部分ニ在ル用水ノ主ナルモノ如シ

用水路名	取入口	灌漑反別	灌漑町村名
小便瀧	矢部 <sup>村大字</sup> 矢部 <sup>字</sup> 小便瀧	五 <sup>畝</sup>	矢部村
露掛	矢部 北矢部 金ヶ平	二	矢部村
川端	矢部 矢部 川端	一	矢部村
間ノ鶴	矢部 北矢部 瀧下	二	矢部村
藤木	大湖 北大湖 漆原	三	大湖村
花巡	大湖 北大湖 謝焼 大湖 大畑	一、七八〇	福島町外十二箇町村
馬渡	木屋 北木屋 馬渡	二〇	福島町外十二箇町村
黒木	黒木 今上 黒木 木屋 家岩	一、七四八	福島町外十二箇町村

(四) 漁業 鯉、鮎、鰯等ヲ主トシ上下流ヲ通シ年額四〇、〇〇〇貫價額一二〇、〇〇〇圓許ニシテ下流部ニ多シ

四、水力地點 本水系ニ於テ本流黒木町以上ハ水力ニ利用スヘシ而シテ此ノ部分ニ於テ主要地點ハ凡テ許可トナ

リ外ニ選定スヘキ餘地ナケレトモ未タ何レモ工ヲ起スニ至ラス。星野川ニハ既設發電所一アリ其ノ他ノ部分ニ於テハ一〇〇分ノ一内外ノ勾配アレト流量少ケレハ利用困難ナルヘシ

矢部川水系許可地點一覽表

種別	五百馬力—千馬力		千馬力—五千馬力		合計	
	地點數	馬力數	地點數	馬力數	地點數	馬力數
發電開始	一	五八六	一	一	一	五八六
未開始	一	一	三	四、六八二	三	四、六八二
合計	二	五八七	四	四、六八三	四	五、二七〇

第三十三章 筑後川水系

一、流域

(一) 地形 筑後川水系ノ流域ハ佐賀縣佐賀神埼、三養基ノ諸郡福岡縣筑紫、三井三潑、朝倉、浮羽、八女ノ諸郡熊本縣阿蘇郡大分縣玖珠、日田及微ニ速見、直入ノ諸郡ニ跨リ北方ニ彎曲シ東西ニ長ク東西二四里幅九里ニ亘リ面積一七五方里アリ

流域ノ北邊中部ニ英彦火山聳立シ之ヨリ南方大分、福岡兩縣界ニ沿ヒ多數ノ火山岩ヨリ成ル山岳連亘シ此ノ線ヲ境界トシテ流域ノ東西其ノ地形ヲ異ニス

西半即チ福岡、佐賀兩縣ニ屬スル部分ニ於テ北ニ脊振山塊、三郡山脈、御笠川、陷沒地ヲ隔テテ東西ニ相連リ三郡山脈